

令和4年度

広報常任委員会 研修報告

期 日：令和4年6月30日（木）

研修場所：とうほう・みんなの文化センター（福島市）

研修内容：

1. 広報誌の広報力を高めるために
2. 議会広報クリニック

長岡 光弘 氏（グラフィックデザイナー）

国見町議会

ページ

渡 辺 勝 弘 委員長	・ ・ ・ ・ ・	3
蒲 倉 孝 副委員長	・ ・ ・ ・ ・	4～5
八 島 博 正 委員	・ ・ ・ ・ ・	6
山 崎 健 吉 委員	・ ・ ・ ・ ・	7～8
小 林 聖 治 委員	・ ・ ・ ・ ・	9～10

町村議会広報研修会報告書

令和4年6月30日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 渡邊 勝弘

【日時】 令和4年6月30日(水) 午後1時～4時

【場所】 とうほう・みんなの文化センター 小ホール (福島市)

【内容】

(1) 広報紙の広報力を高めるために

(2) 議会広報クリニック

グラフィックデザイナー 長岡 光弘氏より、議会広報紙を編集するにあたって議会の担う役割と住民に強く伝わる編集の仕方を研修する。

【感想】

広報紙を編集する上で、議会からの情報をいかに正しく、住民に分かりやすく伝えることが出来ることが、最大の情報紙である。

その上で、住民目線で専門用語を極力減らして読みやすくしなくてはならない。

また、昨今の編集トレンドには二種類あり議会から住民に向けて一方的に発信することで情報が多くなる。一方は、住民が参加する双方向性を考えた編集があり、ホームページなどネットワークを活用する事により情報量を抑えた編集となる。まずは、議員報告懇談会等を開催して住民との意見交換等を通じ意見から問題を見つけ出し、課題を行政に施策提言を行うことができるのが議会であり、この広報紙がその役割を担っているのではないかと考えさせられる研修会でした。

以上

町村議会広報研修会報告書

令和4年6月30日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 蒲倉孝

- 【日時】 令和4年6月30日(水) 午後1時～4時
【場所】 とうほう・みんなの文化センター 小ホール (福島市)
【出席者数】 273名 (福島県内町村議会議員および事務局)
【講師】 グラフィックデザイナー 長岡光弘様
【内容】

A 講義；広報紙の広報力を高めるために

01：議会広報紙の編集にあたって

- ・議会広報紙としての担う情報を訴求する
- ・議会の担う役割が、住民に強く伝わる編集を
- ・目指す広報紙の編集方針が住民に伝わる編集を
- ・昨今の編集トレンドは、
1WAY型（告知型の編集）から2WAY型（双方向性の編集）
⇒議会と住民とを繋ぐコミュニケーションメディアに変化

02：訴求力を高める紙面構成を

- ・住民目線を考慮し、重要情報は目立つ紙面に配置を
- ・情報を分かり易く伝えるロジックを考慮した紙面構成を
- ・様々な議会情報を伝えるために、コンテンツの紙面占有バランスに考慮を

03：広報力を高めるために

- ・絶えず議会広報紙のチェック
- ・伝える情報でターゲットを設け、広報力を図る
- ・今後の活動ポイント
①公聴活動を活かし広報力を高める

②クロスメディアを活用

B 議会広報クリニック；7 町村議会だよりをチェック

【所 感】

・ 広報クリニックは、表紙から最終ページまでをチェックし、良いところ悪いところが分かり易い内容だった。

・ 「追跡レポート」…（一般質問の進捗確認）という内容を使っている町村が多く、本議会だよりにも活用出来ると感じた。今後、一般質問を個人だけでなく議会として追求して行く必要があると思う。

以上

町村議会広報研修会報告書

令和4年7月5日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 八島博正

【日時】令和4年6月30日(木) 午後1時00分から4時00分

【場所】とうほう・みんなの文化センター 小ホール

【内容】

①広報誌の広報力を高めるために

②議会広報クリニック

桑折町、南会津町、只見町、塙町、広野町、大熊町、富岡町の7紙
講師 グラフィックデザイナー 長岡 光弘 氏

【感想】

①広報誌の編集の目的は、住民に議会の内容を伝えるものであるから、
まず読んでもらえる内容である事

②住民が紙面に参加する双方向性のある編集を

③訴求力を高める紙面構成とわかり易さが必要

④読む人の階層（誰に向けて発信するか）を考えての編集をする事

⑤クリニック紙の中で、横書きは読みづらい（読まれない）のではないか

以上

町村議会広報研修会報告書

令和4年7月4日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 山崎健吉

- 【日時】 令和4年6月30日(木) 13時から
【場所】 とうほう・みんなの文化センター 小ホール
【参加者】 国見町5名・事務局1名・各県内町村約280名
【内容】

講師 グラフィックデザイナー 長岡 光弘氏

1、議会広報紙の編集にあたって

(1) 広報紙の広報力を高めるために

- ・ 議会広報紙としての担う情報を訴求する
- ・ 目指す広報紙の編集方針が住民に伝わる編集をする
- ・ 議案審議した情報に、議会からの主張を加える
- ・ 議会からの情報に、住民の意見情報を加える

(2) 訴求力を高め紙面構成を作成するために

- ・ 住民目線を考慮し、重要情報は目立つ紙面に配置する
- ・ 情報のロジックを考慮した紙面構成を行う
- ・ 様々な議会情報を伝えるために、コンテンツの紙面占有バランスに考慮する

(3) 広報力を高めるために

- ・ 広報紙の発行目的と編集方針が伝わっているか
- ・ 住民に情報が伝わる紙面構成か
- ・ 閲読効果が期待できる企画を設けているか
- ・ 情報を分かり易く訴求した編集か
- ・ 訴求力のある紙面表現か

2、議会広報クリニック

・7町村の「議会だより」を上記内容により評価し、今後の紙面構成のアドバイス

【感想】

広報委員として、今後の紙面づくりに大変参考となった。また、7町村の具体的な紙面づくりに対するアドバイスは、当町の「議会だより」と重ね、改善すべきところも多々あった。特に、議会モニターの導入や、QRコードの活用により、紙面では見られない内容も詳細に知ることができ、素晴らしいと思う。当町もQRコードの導入を検討して行きたい。

以上

町村議会広報研修会報告書

令和4年7月14日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 小林聖治

【日時】令和4年6月30日(水) 午後1時～

【場所】とうほう・みんなの文化センター 小ホール (福島市)

【研修事項】広報紙の広報力を高めるために

議会広報クリニック

グラフィックデザイナー 長岡 光弘 氏

【研修内容】

議会広報紙の広報力を高めるために、編集、紙面構成をベースに、昨今の編集トレンドを学んだ。

【感想】

議会の広報紙「議会だより」で、最も大切なことは、住民が見てわかりやすく理解してもらえることだと思う。

今回の研修では、「では、そのためにどうすれば良いのか」を、編集、紙面構成を中心に多くのヒントを得ることができた。

印象に残ったのは、「議会の担う役割が、住民に強く伝わる編集」や「読効果が期待できる企画を設けているか」、「広報紙及び様々なメディアを活用した広報力の向上」の部分であった。

とくに、プリントメディアとデジタルメディアとのクロスメディアを活用するというのは、従来の広報のコンテンツとは別に、新しい広報コンテンツとの融合のようなものであり、これだけでも私にとっては十分に満足できる研修であった。

そこで、今後のわが町議会の広報委員会では、議会のホームページに、毎議会ごと議員3人ずつインタビューなり簡単な動画を掲載してはどうかと提案したい。作成予算を含め少し勉強しなければならないと思うが、ぜひ実現させてみたい。

なお、他町村議会の「議会だより」も資料としてあったので拝見したが、それぞれ地域の特性を活かしたつくり方で、感心しながら読ませてもらった。

以上、この研修報告を終わります。